
岐阜県立多治見高等学校

学 校 長 大嶽 和好

学校住所 多治見市坂上町9-141

電話 0572-22-4155

1 会議の名称 岐阜県立多治見高等学校評議員会 (第2回)

2 会議の構成 委 員 磯田 操子 本校育友会役員
田牧 朋子 本校卒業生
長崎 恵美 まちづくり株式会社華柳

(委員名は五十音順)

学 校 側 大嶽 和好 校長
高木 久美 教頭
秋松 繁子 事務長
伊藤 昭嘉 教諭 (教務主任)
田内 功 教諭 (生徒指導部長)
今井 雅人 教諭 (進路指導部長)
加藤 元規 教諭 (特別活動部長)
高森 賢 教諭 (保健厚生部長)

3 会議の目的 学校運営や教育活動について地域社会や保護者などに説明責任を果たすとともに、要望や意見を幅広く聞き、地域社会からの支援・協力を得て、それを反映できる開かれた特色ある学校作りを推進する。

4 会議の開催 平成27年 2月17日(火) 13:30~16:00 多治見高等学校校長室
委員3人と学校側8人が出席

5 会議の概要

学校からの説明

○ (校長より)

お忙しい中ご出席いただきありがとうございます。5限に見ていただいた自然科学コースの課題研究の発表会の感想、平常のお考えなど、ご指摘や要望など伺いたい。担当から本年度の様子の説明をしていくので、そこで、疑問に思われることや提言などありましたらお願いしたい。

○ (教頭より)

「生徒及び保護者等を対象とするアンケート調査と本校の課題」について

資料の説明 色分けをし、前年度の数値からの向上を分かりやすくした。

「家庭との連携」について、係の努力で HP を一新し、トピックスなどをこれまでより早く更新するようにしている。しかし、新しい情報が UP していることを知らせられず、これからの課題となっている。様々な講演会も行っているのだが、そのことが保護者の方まで十分に知られていないことが課題である。

○ (教務主任)

今年度の重点目標である「わかる授業を通して生徒に存在感・達成感を持たせる授業研究」

について、アンケートを実施したところ、昨年度より10%以上生徒のプラス評価が増えている。公開授業や研修などの成果が現れてきていると思われる。生徒に対し、評価の方法や具体的な観点の提示などを行ったことも、効果があった。しかし保護者向けのアンケートでは昨年度と変化がなく、やはり保護者への発信が必要だと思われる。自宅学習が調査前だと3時間以上できるが、普段がそこまでいかないので、普段の学習時間を伸ばしていきたい。

来年度に向けては、今年度より補習や授業についてシステムの変更を行っている。生徒の主体性を大切にしていきたい。

○ (生徒指導部より)

アンケートでは、一貫した指導を継続したことで、すべての項目で昨年を上回ったが、いじめ対応や教育相談について「わからない」を選ぶ保護者が30%をしめ、学校の取り組みが保護者に伝わっておらず、周知が課題と思われる。

校内の盗難については、ガラスの透明化などを行うのと同時に、生徒の防犯意識、倫理観の育成に努めた。情報モラルの指導では、情報社会の進歩に応じた指導の継続が必要である。交通事故については、ハザードマップの作成や、講話などを行ったが大きく事故件数を減少させることはできなかった。これからも生徒の意識を高めていきたい。

○ (進路指導部長)

今年度の出願傾向を見ると、国公立・私立とも昨年度より出願数が増えており、積極的にチャレンジするという生徒の増加がうかがえる。アンケートでは生徒のプラス評価が増えているが、保護者にはまだ知られていない。

まだ十分に生徒を伸ばしきれていない原因として長期休暇で勉強しなくなることがテストの結果からうかがえるので、春補習の計画や外部の講習会への希望者の参加などを促していきたい。

現在の小学校6年生が大学受験の際に新テストとなるので、進路指導部としてはそれに対応した学習の在り方の研究や研修などを行っていきたい。最後まで粘り抜く力を育てたい。

○ (特活部長)

学校行事について90%を超える満足度が見られ、充実した活動が行えている。「Have a Dream for 100」Projectも生徒には自分自身の在り方や生き方を考える良い機会となった。

アンケートではボランティア活動にマイナス評価があり、生徒のボランティア活動が知られていないことが残念である。部活動にも積極的に取り組んでおりその成績も見ていただきたい。

○ (保健厚生部長)

校舎の改修でトイレが非常にきれいになった。

災害についてもしものことを考えて、救急救命講習を実施した。防災リーダー研修会も行い、発表を行うなど充実した活動になった。自分の命は自分で守る能力を身につけられるようにしていきたい。

○ (事務長より)

県からガイドラインが示され、学校で扱うお金について公費私費の区別をしっかりとつけることが求められている。名称も変わり「学校預り金」と呼ばれるようになった。学校の透明性を高め、育友会等の会計の情報も公開する。少しでも削減をしていくことが求められているが、校舎の修繕などは県の財務課にお願いし、予算をいただいている。教員向けも研修も行っている。

学校評議員からのご意見・ご感想

意見 1 自然科学コースの発表はとても良かった。子供から課題研究について話も聞いてきており、本人たちの苦勞も知っているので、なおさらである。授業では時間が足りず、大変だったし、資料やPPにも時間がかかったが、自然科学コースに入って課題研究ができて、よかった。教務の自宅の学習時間について、うまくできるといいと思う。進路指導では模擬試験を受けてもその復習ができていないので、うまくできるようになるといいと思う。生徒指導のあいさつ運動では登校する姿からみんなの様子がわか

り、よく見てもらっていると感じている。100周年への講演会は子どもの心に響く内容のものをお願いしたい。警報が市町村別に出されるので、メールで連絡をもらえると登校の要不要がわかる。

学校1 恵那市のみ警報が出たり、瑞浪のみ大雨警報が出て学校待機になったこともあった。何とか徹底したい。

学校2 地区の学校同士の連携により対応しているが、警報が出る前の帰宅指導のタイミングが難しい。以前より神経をとがらせている。

意見2 卒業生ではあるが、中学生の子もおり、保護者の立場でも見させてもらった。発表はPCを使い、今の子はすごいと思った。研究で失敗があっても今後の課題を入れていたのがいい。中学の旗当番で立っていると高校生が挨拶をしてくれる。あいさつ運動はこれからも続けてほしい。

意見3 会社でもやはりプレゼンテーションをすることがあり、ああいった経験は大切である。高校生からPCを使えるのは羨ましい。報告を聞いて、細かく指導してもらっていると感じた。通学路で多治見高校の子が向こうから挨拶してくれたが自然な感じでよかった。ボランティアの参加者が少ないとのことだったが、夏の祭りで茶華道部の子が4人ボランティアで参加してくれてワークショップでも頑張ってくれた。文化祭も見させてもらったが生徒も保護者も楽しそうでいいと思った。

地元の人間なので、いろいろ情報が入ってくる。テスト中など子ども情報センターに学校の先生が様子を聞きに来るが、多治見高校は来ないと聞いた。まなびパークで携帯電話の充電をする子がいる。社会のモラルは家庭で身につけさせるものだが、今は学校で行うものである。校外の施設では家庭や学校外の姿が見られるのではないか。

6 会議のまとめ

登校時に比べると下校時は開放感がある。その時の姿はいわば生徒の実力テストの場である。これくらいはいいだろう…ではなく、大勢の中で不快な態度、利用状況としてふさわしくないものは、言ってもらえるとありがたい。学校・地域等子どもを見て育てていくのに遠慮は禁物である。気になるところはお互いに出し合ってそれが地域の力となる。部活動の発表や卒業式などにも足を運んでいただけるとありがたい。地域の様子を教えていただき、多治見高校への期待の提言をこれからもいただけるとありがたい。

今日はお忙しいところ、ありがとうございました。